

作成（2025 年度）

簡易版 TP（ティーチング・ポートフォリオ）

氏名	大橋 唯太
所属機関名	生物地球学部 生物地球学科
職位	教授
在籍年	22 年

教育の責任

気象学・大気科学に関する講義および実習を担当し、学生に基礎的な知識と野外観測のスキルを習得させる。気象学概論、大気物理学、天文気象・地球の数学、野外調査法実習Ⅰ・Ⅱ、天文気象観測実習、卒業研究Ⅰ・Ⅱなどの科目を担当している。

教育の理念

自然のしくみ、自然環境の変遷、人間と環境の関わりなどの幅広い知識を習得し、複雑で予測不可能な未来に対する社会のニーズに応え得る人材の養成を目指す。専門的知識の修得方法を講義に偏ることなく、多様なフィールドワークを利用した教育を通し、得られる生きた知識や技能をもとに、学生が主体的に解決すべき課題を発見し、その解決に取り組める十分な能力を有する人材を養成する。

教育の方法・方針

講義・実習・卒業研究を通して、大学卒業者として最低限必要な文章の読解・表現力、IT リテラシー力を習得させることを目指している。特に IT リテラシーでは、表計算ソフト、プレゼンテーションソフトなどを十分扱えるスキルを、講義や実習のレポート課題を通して身につける。これらは一般社会で必ず必要とされるスキルであるため、社会で活躍できる人材を養うことにつながる。

教育の成果

授業アンケートでは毎年「授業内容が面白かった」や「スライドがわかりやすかった」、「とても興味が持てた」など好評なコメントが多くみられる。また、学科の講義のなかで一番勉強したというコメントも、いつももらっており、前述した教員のねらいと受講生の修得が合致できると考える。

今後の目標

講義や実習での受動的態度を解消するため、グループワークを積極的に取り入れてみることを検討する。特に、教育の理念で示した「主体的に解決すべき課題を発見し、その解決に取り組める十分な能力を有する人材」の養成につながるような、課題から自ら設定して周囲と議論し、解決策を考える思考力の涵養を目指す。

根拠資料

「環境気象学」2022~2024 年度アンケート結果
「天文・地球気象の数学Ⅱ」2022~2024 年度アンケート結果
「地学実習」2022~2024 年度アンケート結果